

クーデレ幼馴染の
エッチなCG集

ミスコンに
選ばれるほどの恵体が
肉欲にとっぷり溺れる

大学で
再会した
付きあっていた
幼馴染と
やりまくるようになった！

率100%
中出しと愛液と精液で
汗と愛液と濡れ
ぐしよ

- ・処女喪失騎乗位
- ・海で水着でフェラ
- ・ミスコンと発情青姦
- ・ファミレスで隠れフェラ
- ・やりまくる正常位
- ・断りきれず先輩と
- ・泥酔乱交パーティー

基本CG:7枚

恋愛に奥手だった幼馴染と付き合い始めて3ヶ月。

ついに初めてのエッチに漕ぎ着けた。今は夜。こゝは俺の部屋だ。

「あう………つ！………入ったよ………動かないと気持ちよくないよね？………動くね」

「んう………動くともつと圧迫感凄い………固くて太いのが体の内側を押し広げて………」

ふうふう………これがセックス」

アハハ

ト

ト

んま

んま

ん

んま

んま

「怖かったけど思ったより痛くない………なんか段々体が熱くなってきた………来たあ」
「熱いっ………ふぁ………あ………どんどん………頭の………中………一緒に………気持ちよく………あ………なんか来る………っ」
「熱いっ………お腹の中………で………暴れて………いつ………ぱい………中………一緒に………気持ちよく………あ………なんか来る………っ」
「………来………ち………や………う………う………う………っ」

「ああああ〜♡♡♡どくどく脈打って…射精して…る？
えへへ…よかった…一緒にいけた…嬉しい♡
「うう…あんまり見ないで。私今理性きいてない顔してそうだから…」

「セックス…こんなに気持ちいいって知らなかった…
どうする？これで出席日数足りなくなったら…なんて冗談だけど…たぶん」
「あの…ね…1回しか言わないからよく聞いてね…
私初めては好きな人にとって…思ってたから…今すっごく幸せ♡」



海辺をなんとなく歩いていたらムードがどんどん高まってきた。
人気がないのを見計らって彼女はおもむろに腰を落とし俺のズボンに手をかけた。

ちゅ

ぐゅ

「こんなガチガチにしてたら……皆のとこ戻れないよね……」

「しよーがないから私が手伝ってあげる」

「ぢゅびっぢゅびっ……♡……はふ……大きすぎて顎外れそう……」

「うわどんどん大きくなる……ふふ興奮しすぎ♡」

「♡♡♡(金玉)弄っても気持ちよく……なるんだね……いつでも出していいよ♡」

「……♡♡♡に溜まってるんでしょ？」

「じゅぽじゅぽおっ♡のどちん♡に当たるくらい奥まで啜えこんで……じゅぽじゅぽおっ♡♡」

「たまに裏筋やさつき責めたり……れぢゅびぢゅび♡ビクビクしてきた♡」

「いつぱい気持ちよくなつていいよ……そんでいつぱい射精して♡」

ほ♡

ガチー

ぐに

ふに

今日、見事ミスコンに輝いた彼女。
その時の衣装で残りの学園祭を
共に過ごし楽しんで気分は最高潮。
そして夕暮れ時、辺りに人が
居ないのを見計らい、
家まで我慢できずに……。

ずびゅ

「ああっ♡ああっ♡……ダメっ♡こんなとっでえ♡

ああああっ♡そこ弱い♡先っぽの引っかかるとっで

こすりまくらないでええ♡大きい声出ちゃっ♡……っ♡」

「ずっ♡……私だっ♡ずっ♡我慢してたから

……これ……ずっ♡欲しくてっ♡

ダメっ♡……せめてするなら家でっ♡……しっかりしないと

……もうっ見境なくするようになる♡」

「いつもよりガチガチにして……そんなに激しくされたらっ

……わらひい♡」

「イクぅぅぅぅぅ♡
…聞こえちゃうっ…
遠くに人影見えるのにつ
…こつち来たたらばれるのに
…イクの止まんないっ♡」

イクッ
イクッ
イクッ

「はあ…はあ…っ…外なのに…こんなに全力でやって…
…出して…イカせて…もおバカ♡
…最近…やりすぎ…普通の感覚おかしくなるっ…
…なっ…人来る…っ…早く抜いて！」
んっ♡ぐりぐりするな！
続きなら帰ってからしてあげるから！」
深くは考えず、ただ今感じるスリルを味わいながら、
二人はそそくさと事後処理を済ませた。
続きはもちろんミスコンの衣装のままして、
最後は独占欲たっぷり白濁液をぶっかけた。

イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡

イク

イクッ
イクッ
イクッ

キカイ
キカイ

彼女とファミレスでお茶をしていた。
冗談でこつそりファミレスしてみてもいいと言った。
注文した料理が届くまでの短い時間で射精させるつもりらしい。
「向かいの席」注文は以上でよろしかつたでしょうか？
「角の席だから」絶対ばれないね。さすがに店員さんが
料理運んできた時はヤバイけど。責任とっておちんちん勃起させてよ♡」
「なによ。責任とっておちんちん勃起させてよ♡」

「ファミレス超上手くなったでしょ...?」
見えないうけど気持ちよがる顔必死に
平成装おうとしてるの想像できる♡
それ想像すると私もマンコ濡れてくる
♡
♡
「ダメにするガチガチンポの喜ぶこと♡」
「全部精液の味になっちゃうくらい
濃いもの♡」

しゅん
しゅん
しゅん
しゅん

しゅん
しゅん
しゅん
しゅん

他サークルと合同でテニスをした。
ミスコンの時にナンパされた先輩にまたしつこく誘われ、当然断る彼女。
だが休憩時間に飲んだ水に一服盛られ、意識が朦朧とする中気づいたらその先輩とホテルにいた。
「危なくない…介抱なんて入りませんからっ
…いやっ抜いてっ…やめて下さい…んっっ♡」

「感じるわけないっ…いやっ…いやだーっ♡」
（何で私ホテルに居るんだろ…
何で嫌いな先輩とエッチしてるの？
…覚えてない…でも抵抗しないと

…うっ気持ち悪いっ！
「いやっ…ああ♡ダメ♡それ…出し入れしちや♡
そこ入っついていいのは一人だけなの♡…ああっ♡」
（あれ…気持ち悪いよね？…意識がぼーっとしてきた…あれ）
「ダメっ♡やめて…気持ち悪いのやめてええ♡ずんずん来ないでっ♡」

「うううう……いやっ！……中に出し……たんですか？」

「……最低……この……んっ♡」

「（もっつと抵抗したいのに……体が言うつこと聞かない……」

「私何でイッてるの……こんな……もうイヤ……」

「気持ち……悪い……んっ♡」

「振り絞って出した精一杯の抵抗。だが、アソコを痙攣させながらビクビクとイッている正直な姿に男は満足げだった。」

そして男はスマホでその姿を写真に収めた。

丁度薬も切れかかっていたので、

彼女は運良くそのタイミングで、

その場から逃げ切ることができた。

ミスコンに輝いた彼女のハメ撮り写真は

目隠し状態でネットに出回り一時話題となった。

また、その写真で脅され先輩のオモチャにされることもあつたようだがそれは別の話。

「んああああああ♡チンポからザーメン
いっぱい出てりゅー♡中も外も…ザーメンでいっぱい♡」
「すう…イっくううう…ああ思いつきり叫んでみたかった
…気持ちいい…凄いい開放感…皆もいきまくってる…これ本当に夢…？」

「あれ…なんか目の前が真っ暗で…何も見え…ん…ああ
そして、糸が切れたように意識を失った。
翌日、皆は汁まみれの全裸で目覚めた。
昨日のことを覚えていない人は誰も居なかったが、
このことは暗黙の了承の上、黙殺された。」

「ああ」

「ああ」







♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡

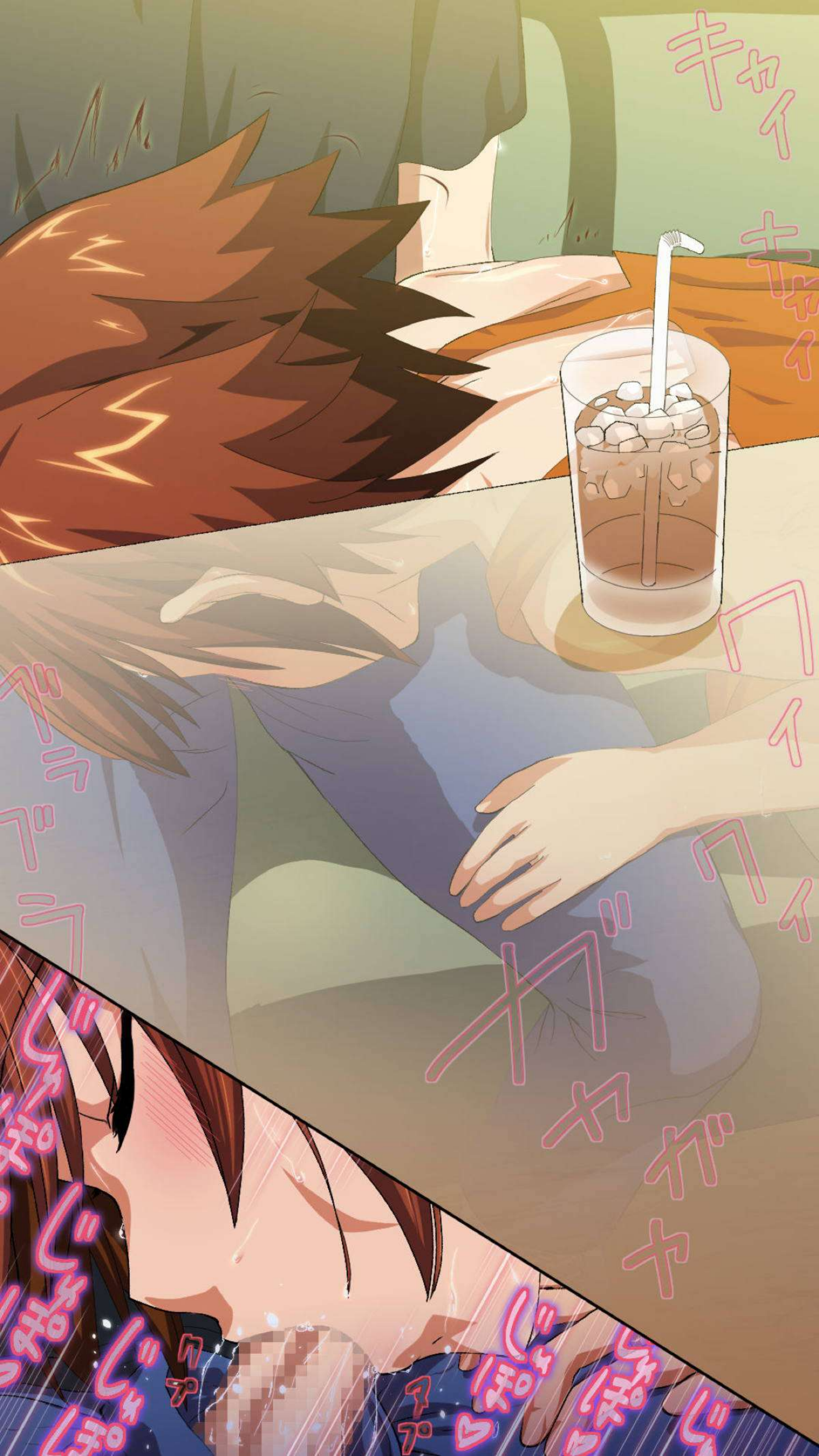
♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡



キカイ

キカイ

キカイ

キカイ

キカイ

キカイ

キカイ

キカイ



キカイ

キカイ

ハカロ

ブル

ブル

ブル

ブル

イ

イ

イ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ









下コ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ

ズ

ズ
ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ



























